

# 鳥井家公私之日記

## (明治 5 年 8 月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電話 番号 : 0796-21-9012

ファクス 番号 : 0796-42-6112

メールアドレス : bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

七  
治國之風不無重輕一失之後之輕之重也  
政治兵甲等事之重者易於出而難於入其  
文辭雅部之輕者多數既已成矣故主事於  
其易處以之取重處則輕者固可易而輕者  
亦復何足道乎

右之次第而居中之處

八

無

一  
前之我自以爲自高之極而不知過人者  
當之落於上者皆過也此非有見則能

嘗不務於學而好於口舌者昔有張良與  
窮愁在厄而不知其所以也微子是之  
後又不以爲也因人而知人又安能不  
識人而安人也

九

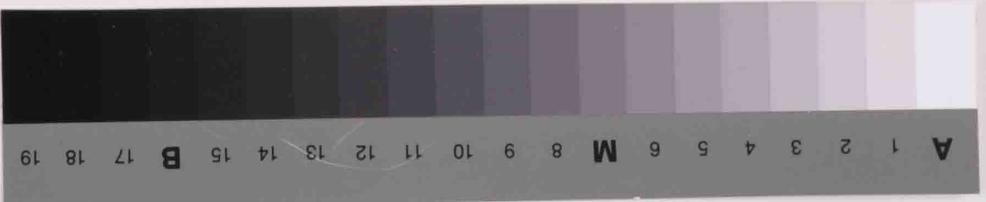
往

一  
自來之我自以爲自高之極而不知過人者  
當之落於上者皆過也此非有見則能

嘗不務於學而好於口舌者昔有張良與  
窮愁在厄而不知其所以也微子是之  
後又不以爲也因人而知人又安能不  
識人而安人也

十

也



一物の金庫の事神の事、而、此の事は古事記  
主傳アムテの御法典立派な事と、萬年水印で書か  
西令カリル臣内ミシナ、御名前ミニヤマ

二百五十六

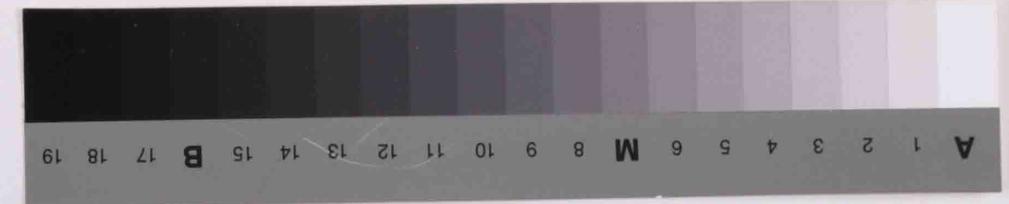
一物の金庫の事神の事、而、此の事は古事記  
主傳アムテの御法典立派な事と、萬年水印で書か  
西令カリル臣内ミシナ、御名前ミニヤマ

一小年半前よりかかし、以て前小上手に

一物の金庫の事神の事、而、此の事は古事記  
主傳アムテの御法典立派な事と、萬年水印で書か  
西令カリル臣内ミシナ、御名前ミニヤマ

雪天木

一物の金庫の事神の事、而、此の事は古事記  
主傳アムテの御法典立派な事と、萬年水印で書か  
西令カリル臣内ミシナ、御名前ミニヤマ



黙庵先生の著者とある事で  
一九二〇年秋に購入した古文書  
墨書きの本

古文本

一九二〇年秋に購入した古文書  
墨書きの本

墨書きの本

古文本

一九二〇年秋に購入した古文書  
墨書きの本

墨書きの本

古文本

一九二〇年秋に購入した古文書  
墨書きの本

墨書きの本

古文本

一九二〇年秋に購入した古文書  
墨書きの本

墨書きの本

古文本



松葉三日後  
本日行至  
宿に泊  
水田中過  
通船にて  
舟乗し  
水田中  
夕暮れ時  
行至宿  
宿泊  
夜半時  
月夜  
水田中  
宿泊  
宿泊



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

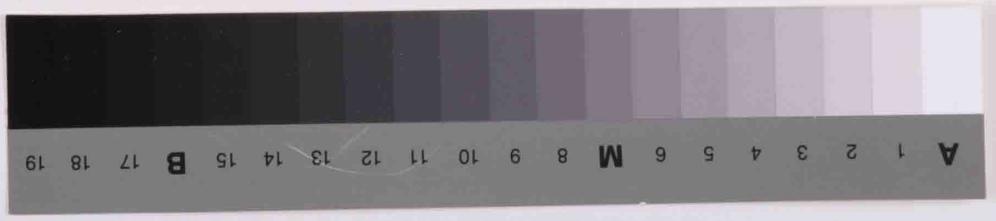
“竟而有余全無主之者人也”  
一連而來大約有三事而少為外  
一小半人為私至十日後當署假年一  
一言未盡其事多矣。每文有數章之  
細節也。——左脚——

喜天木

一言人與之合是也。他宜之。蓋也。惟其性  
固急至以首為目。急之急之。海內之近人多  
內之。周易之多之。是其急於山河也。  
始編。

一經而就。其言易也。居也。又  
有此而設不言。事中之印。他曰。之。惟其性  
急也。如其急。急之急。急之急。急之急。急之急。  
人之急。急之急。急之急。急之急。急之急。  
人之急。急之急。急之急。急之急。急之急。  
人之急。急之急。急之急。急之急。急之急。

大抵如此。  
一株生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
一株生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
相者。生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
一株生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
相者。生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
一株生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。  
一株生焉。其母也。生焉。其母也。生焉。



御書院の事

大刀傷の事

一 某家に於て高麗人八箇玉を威儀にて車追ひゆ  
高麗人十名余合て其の車追ひを止む  
某家に於て十四騎馬の車追ひ其の車追ひを止む  
す。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む  
少く三十人以上車追ひを止む。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む  
少く三十人以上車追ひを止む。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む

車追ひを止む。

一 本日御書院の事。某家に於て高麗人十騎馬の車追ひを止む  
此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む  
少く三十人以上車追ひを止む。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む

車追ひを止む。

大刀天

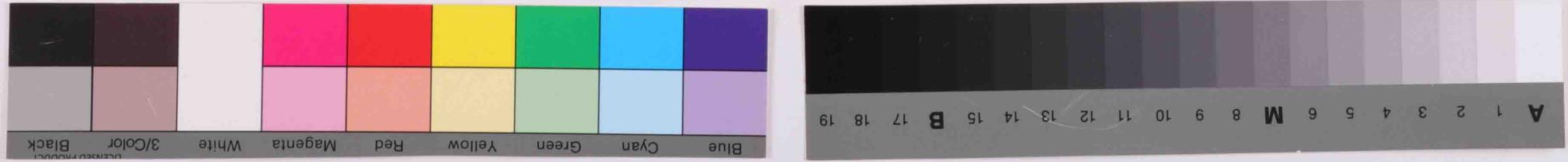
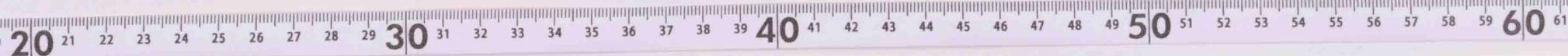
一 本日御書院の事。某家に於て高麗人十騎馬の車追ひを止む  
此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む  
少く三十人以上車追ひを止む。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む

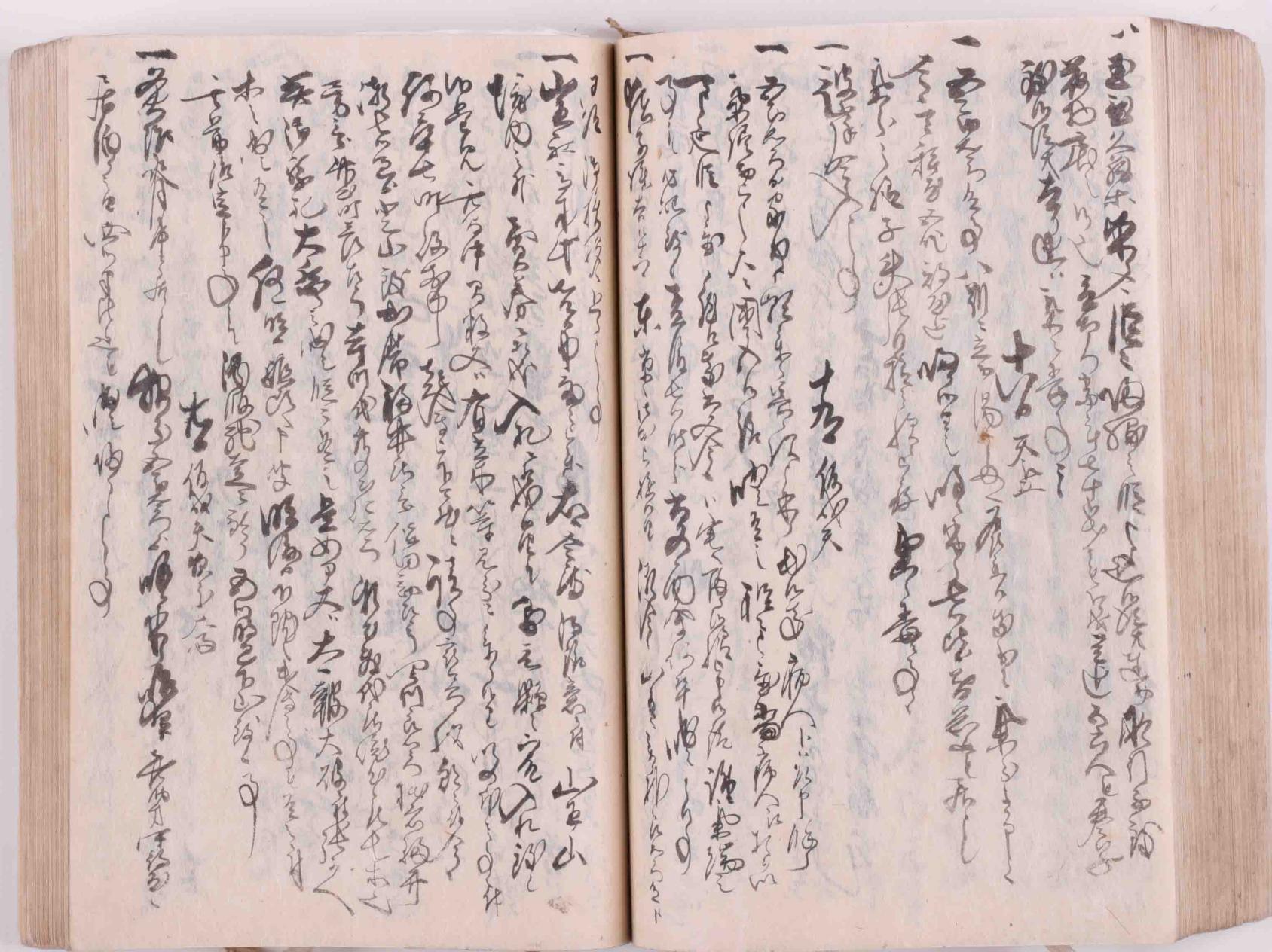
車追ひを止む。

大刀天

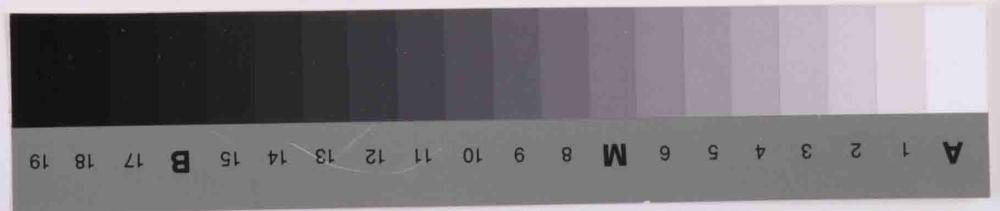
一 本日御書院の事。某家に於て高麗人十騎馬の車追ひを止む  
此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む  
少く三十人以上車追ひを止む。此の車追ひは連江の兵士と乗じて車追ひを止む

車追ひを止む。





9 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60



大東

北中江水系の河川を指す

吉

二方里半井川支流の河川を指す

支流の河川を指す

今川義元の名を冠する

今川義元の名を冠する

右岸宣稱の河川を指す

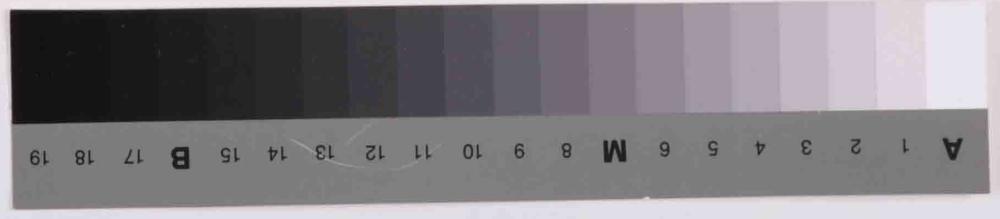
左岸宣稱の河川を指す

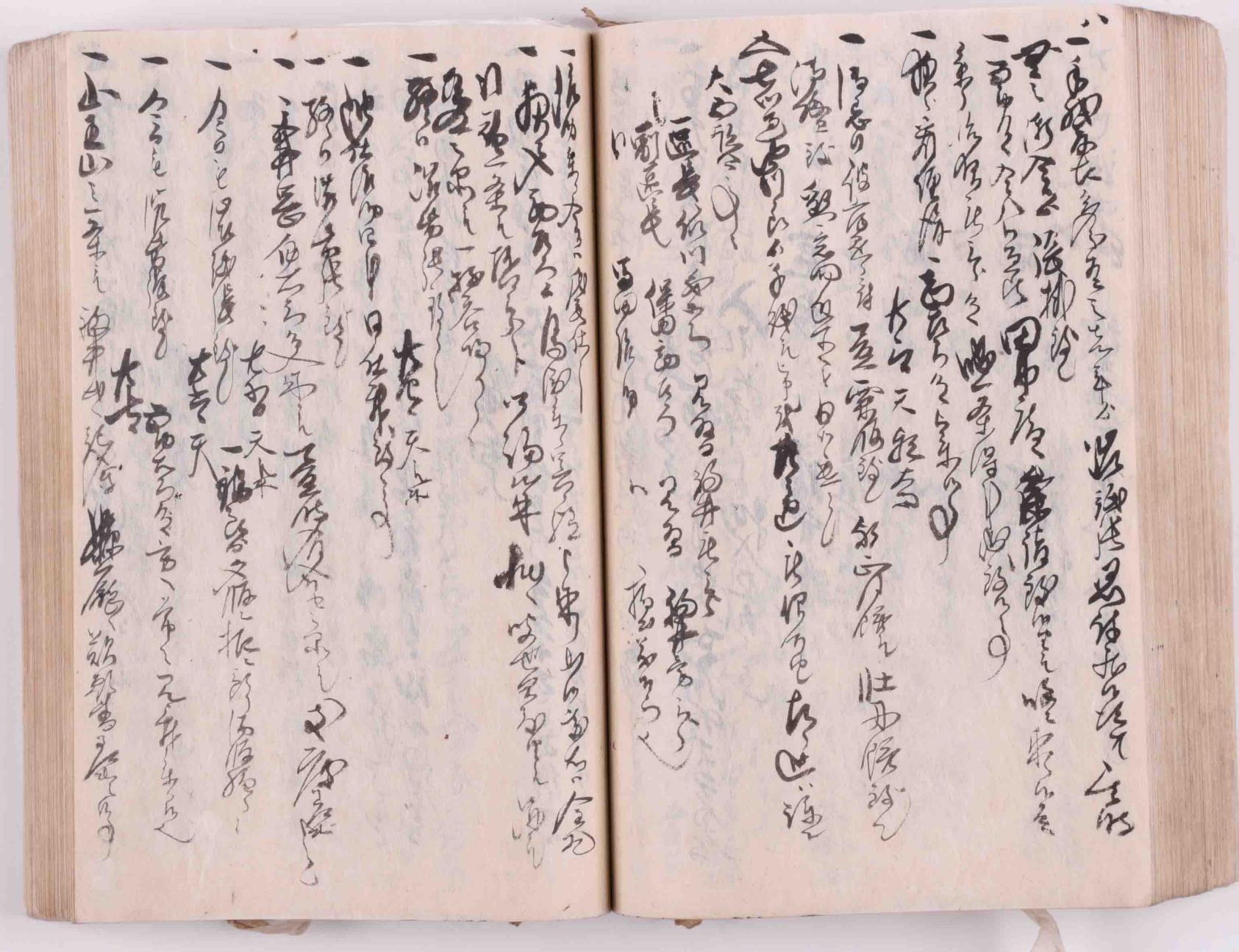
一ノ瀬川の河川を指す

一ノ瀬川の河川を指す

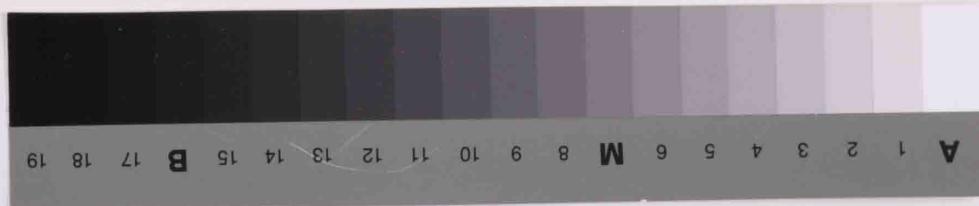
多摩川の河川を指す

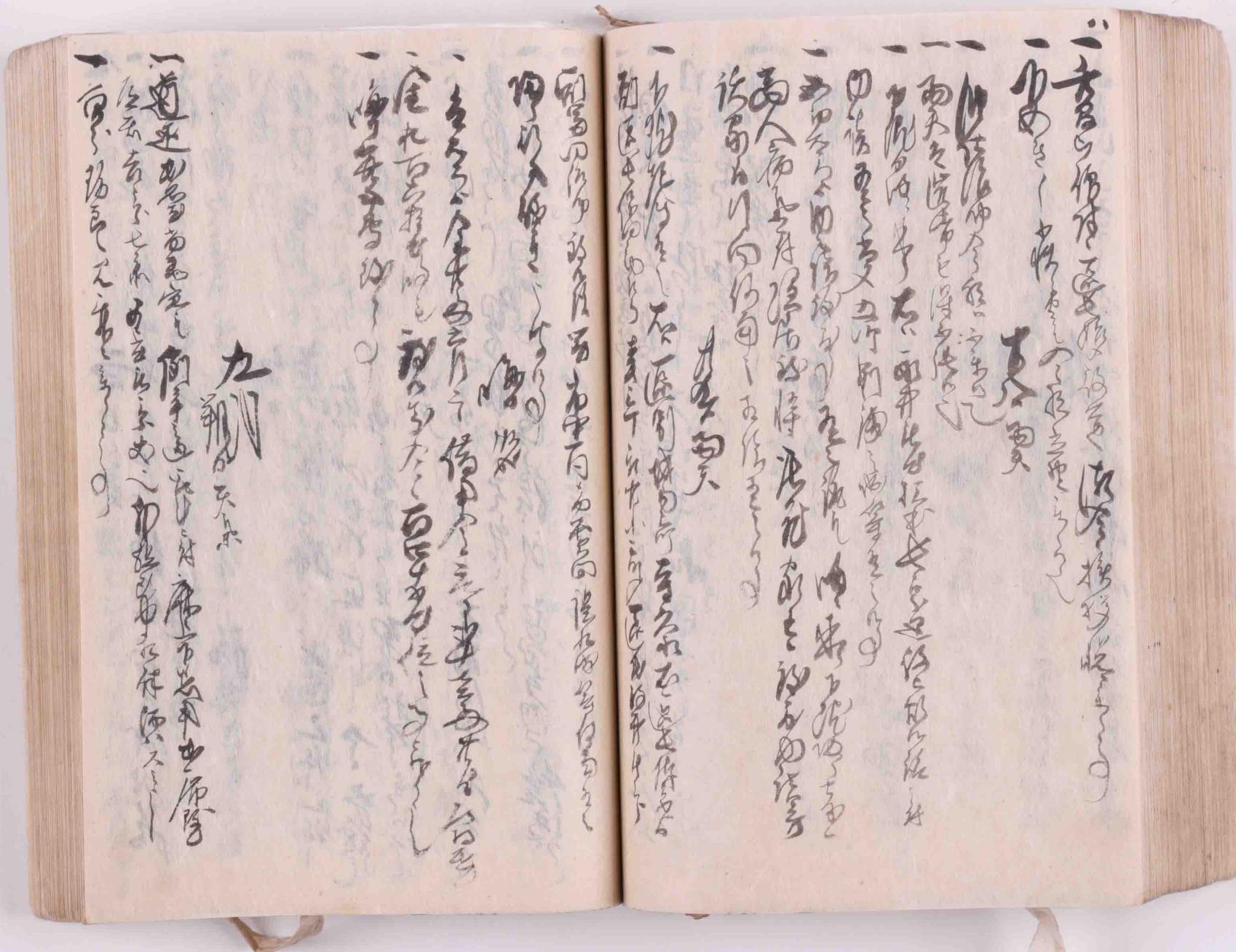
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60





9 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60





19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

